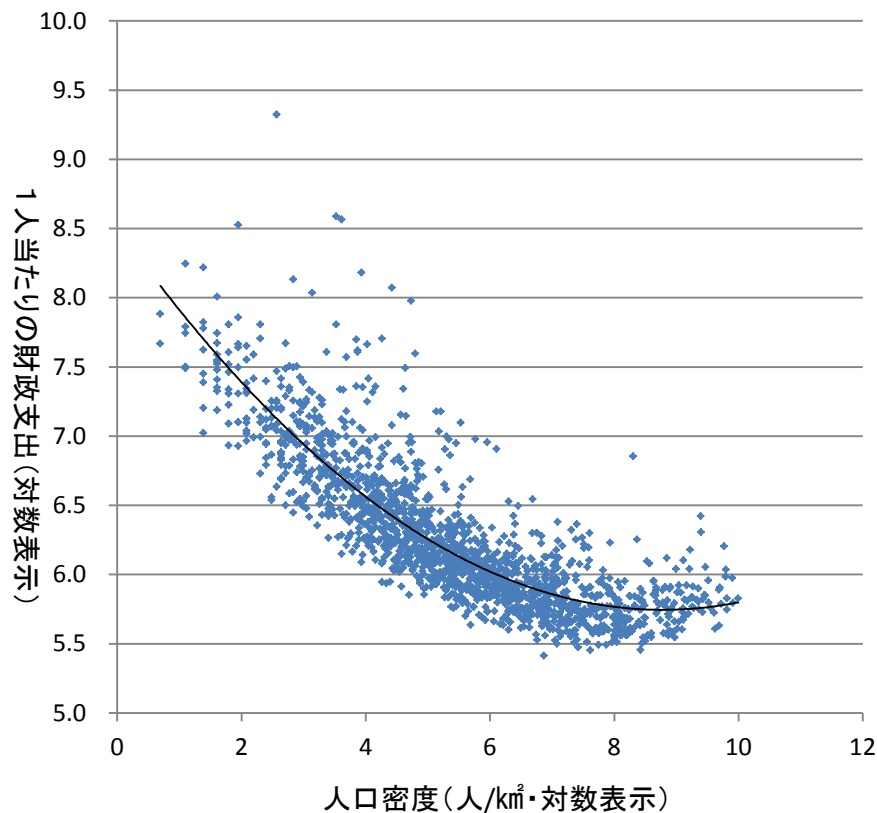


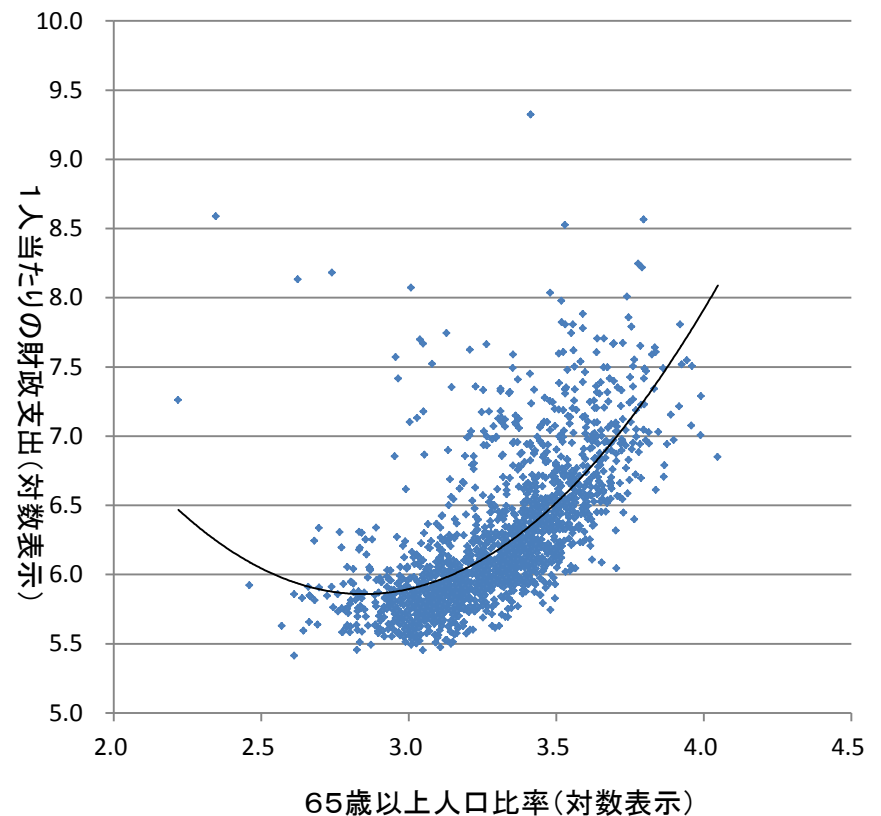
# 人口密度と住民一人当たりの行政コスト

- 一人当たりの財政支出は、人口密度、高齢化率等との相関が高い。
- 小規模な自治体では、今後、人口減少に伴い、財政が厳しくなる可能性あり。

一人当たりの財政支出と人口密度の関係



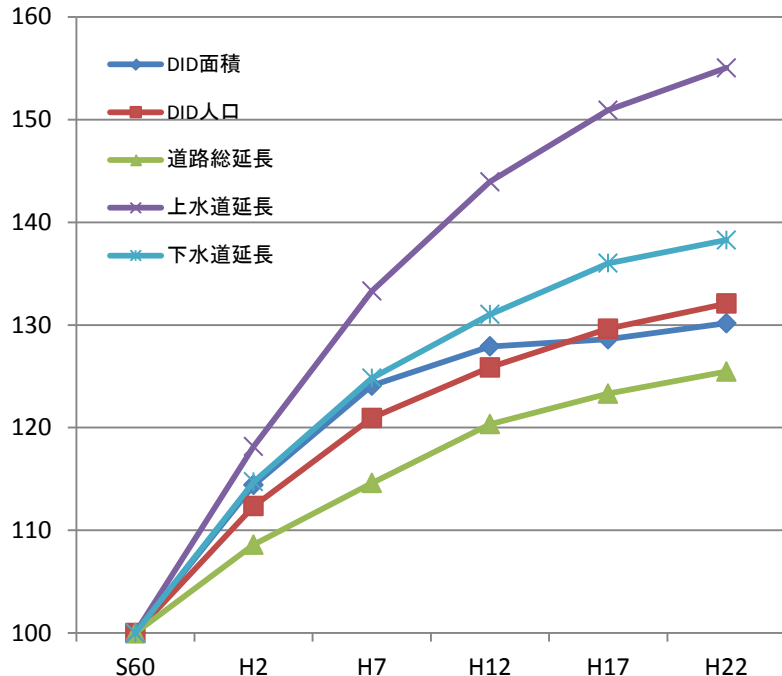
一人当たりの財政支出と高齢化率の関係



# まちの外縁の拡大が自治体財政に与える影響

- 人口が郊外化すれば、道路、上下水道等のインフラは拡大。
- 人口減少下では、住民一人当たりのインフラの維持管理・更新費用の増加が見込まれ、自治体財政が逼迫される可能性あり。
- 自治体内での「集住」を促し、都市機能をコンパクトにまとめることは、インフラを維持するためのコストの低減を通じて、財政健全化を進める観点からも有益。

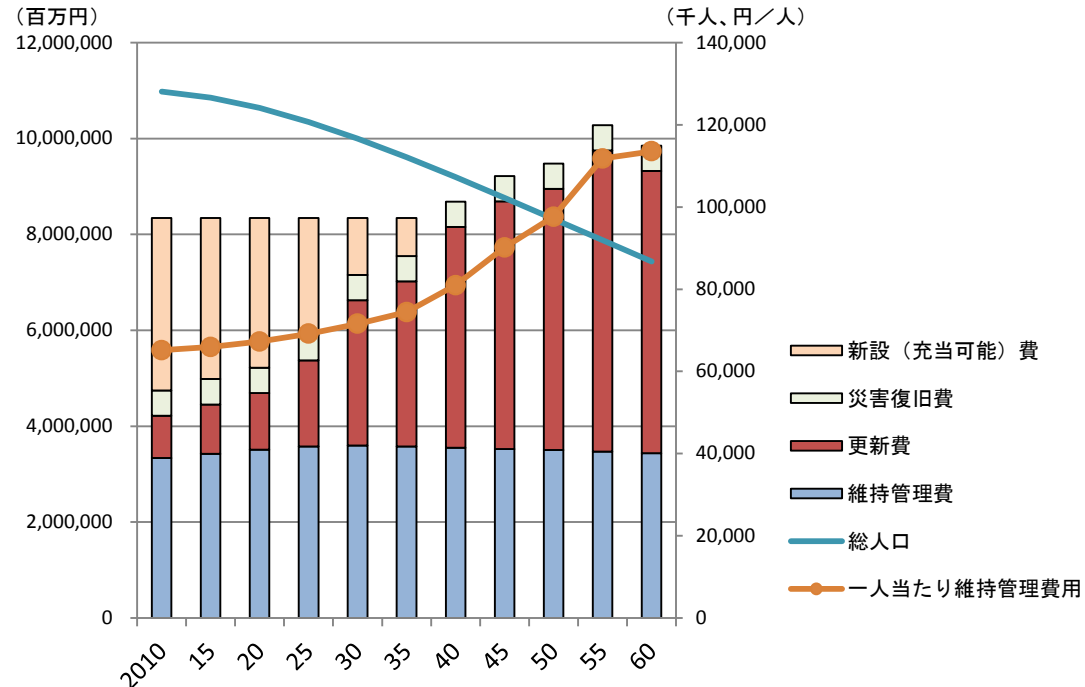
人口集中地区(DID)面積の拡大と  
都市インフラ整備量の推移  
(札幌市)



(昭和60年=100)

出所:札幌市「主要指標長期時系列」

住民一人当たりの社会資本維持・管理費用の推移



注)社会資本・・・道路、港湾、空港、公営賃貸住宅、下水道、都市公園、治水、海岸

出所:国土交通白書2012 国立社会保障・人口問題研究所